

RETENTION PLUS

Retention Plus (リテンション・プラス) は、四つのR (リテンション、リクラメーション、リバイバルとリフォーメーション) に関する記事やニュースを通して支部内の各教会のために、リテンション・プロジェクト・コーディネーターや牧師たちを力づけることを目指しています。間近なイエスの再臨に対して教会員を備えをさせ、具体的な行動へかきたてるよう、読者を目覚めさせ励ますことを願っています。

Retention & Reclamation Committee Members

Chairman

Jairyong Lee

Secretary

Fukui Teru

Members

Barbara Choi
David Ripley
Lynn Ripley
Kwon Johnghaeng
Joo MinHo
Han SukHee
Kim SiYoung

Main Editor

Fukui Teru

Assistants

Oh MyoungSook
Kim MinKyung



Northern Asia-Pacific Division
of General Conference

P. O. Box 43. Goyang Ilsan,
410-600, Republic of Korea

Tel: 82-31-910-1500

Fax: 82-31-919-4412

Email: tfkui@nsdadventist.org

信徒を教育し整えることによって 弟子を作る (3/3)

誰を教育すべきか？

(前号の続き：全教会員を訓練のために呼びかけるのではなく、弟子訓練のためには少人数のグループを選ぶべきです。「時に応じて、良く献身した数人の人々が、神のために世界を動かすでしょう。」教会は、数人の人から弟子訓練を始めねばなりません。)

一旦、数人の教会員が弟子として訓練されたなら、弟子作りを通して増殖していくように彼らを励まさねばなりません。テモテを弟子として訓練した後、パウロは彼が他の人に霊的な助言者として自分が訓練されたように行うよう励ましました。「そして、あなたが多くの証人の前でわたしから聞いたことを、さらにほかの者たちにも教えることのできるような忠実な人々に、ゆだねなさい」(2テモテ2:2)と、パウロは言いました。勧められた通り、テモテは信頼できる人たちに教えたに違いありません、そしてその後、今度は彼らが、他の人たちに教えたのです。

どれほどの間、教育すべきか？

イエスは、およそ3年間、12人の小グループの弟子たちに、教え訓練することに集中なさいました。彼らといつも一緒にいて、言葉と行為を通して教えられました。使徒パウロも、エペソでおよそ3年間弟子たちを教え(使徒19:8-10;20:31参照)、後にローマで2年間教えています(使徒28:30,31参照)。

ウィンとチャールズ・アーンによれば、教会生活の最初の6ヶ月の間の教会員との友達関係が、その人が活発になり続けるかどうか大きな影響を与える。調査研究も、最初の6ヶ月間が新しい信徒にとって、正念場の時期であることを述べている。この最初の6ヶ月間に、平均して7人の新しい友人を教会で得れば、教会で生き続けることになる。次の6ヶ月の間に、もしその新しい信徒が喜んで小グループ活動に参加し、他の教会員との質の高い人間関係や、教会の奉仕と活動に自ら寄与して満足するなら、教会に同化していく。つまり、リテンション(教会員の定着)の努力は、新しいその信徒が教会加わった後、最初の6ヶ月から12ヶ月の間になされねばならない。

つまるところ、新しい信徒への弟子訓練は、少なくとも最初の6ヶ月か、ある

いは12ヶ月内外のうちに与えられなければならない。その後ですら、多くの訓練や、新しい弟子と定期的、個人的交流が養育的指導のために必要とされる。イエスは、約3年をかけて12弟子たちを訓練し、養育指導をされたのだ。

結論

バプテスマ後に教えるということがなければ、大宣教命令は大棄教令(Great Omission)となります。イスラエルの民は神の力によって紅海を渡り、シナイ山に到着した時、彼らが神の王国になるよう、ご自分の律法を教えられました。イエスもまた大宣教命令で、バステスマの後、弟子となるために教えるようにと言われました。第一ペトロ2:9での王の系統を引く祭司の業は、最終的には弟子を作ることです。それが、教えること目的です。

教育は、弟子作りの大切な部分です。低い定着率は、教育の欠如と深く関わっています。牧師や教師は、新しい信徒を訓練し、どのようにして規則正しい聖書の学びや熱心な祈りを通して神と交わることができるか、信仰共同体の小グループにどのように参加するか、その交わりに友人をどのように招くか、そしてどのように他の人を弟子にするのかを教えねばなりません。

バプテスマを受けて教会に加わった後、最初の6ヶ月から12ヶ月は教育を続けるべきです。普通新しい信徒は、バステスマの後一年、特に最初の6ヶ月間は教会の裏口から、すべり落ちて行きやすいのです。もし、新しい信徒が最初の6ヶ月の間に7~8人の友人を作り、信仰の小グループを通して教会への帰属意識を覚えるなら、活動的であり続けることができます。それだから、新しい信徒を6ヶ月間、教え訓練することが必要なのです。教育は、単に新しい信徒が定着するために必要なのではなく、養育して弟子を作る人になるために必要なのです。

NSD、支部総理補佐
リーダーシップ開発
ジュー・ミンホー博士



韓国西中央教区 ジュクサン（竹山） デサラング（多愛） 教会

金根洙
(キムグンスー)
牧師



小さな田舎の教会

京畿道安城市、ジュクサン（竹山）ミョン（面：村あるいは町の意）は、韓国カトリック教会の聖地として知られ、そのためこの地域にはカトリック教会の大きな影響力があります。さらに韓国の歴史で、三王国時代の百済王朝グングイェ王が暫く居住した地に位置する七長寺（チルジャングサ）と呼ばれる寺の影響力があり、沢山の信徒がいる地域でもあります。この小さな町に、色んな規模の13のプロテスタント教会があり、ジュクサン・デサラング教会はその一つです。

2008年3月1日に、私はこの教会に赴任してきました。それは本当に、小さな、薄汚れた、田舎の教会でした。火曜日（訳注：韓国では火曜日が祈祷会）と金曜日の夕集会は、中止されて長く経ち、教会の近くに住んでいる教会員はいませんでした。遠くに住んでいる、10人程の70歳の歳を召された信徒が消えかかった炎を何とか灯していました。教会は1979年に建てられ、30年経った建物は、多くのヒビや雨漏りがあるような悲惨な状態でした。人々は、「変な」教会と呼んでいました。

しかしながら、教会員たちは一緒になって、心を込め、多くの涙と懇願を捧げて祈り始めました。この地で神がお与えになった使命を果たすべく、火を再び灯すために、教会にリバイバルを与えてください。「主よ、新しい教会の建物を与えてください。」私達は、わずかで弱い教会でしたが、神が共にいてくださるなら、この地で福音の光を再び輝かす神の灯台となることができるように強い信仰を持って祈り始めました。実際、神は祈りに答えてくださいました。

こぞって入ってくる全ての人々のためには、今教会は小さすぎます

10人近くの70歳代の信徒の熱心な祈りに答えて、神は150坪（495平方メートル）の3階建ての教会を献堂する奇跡を、一年のうちに与えてくださいました。一度ほとんど消えかかった、聖霊の火は再び、輝き始めたのです。今や、私達の祈りはキリストの故に魂を救う情熱で一杯に

なりました。「主よ、新しい会堂を新しい魂で満たしてください」と祈りを捧げながら、聖書が記しているように、イエスキリストはどのように魂を救うためにお働きになったのかを、瞑想しました。

イエスは、目しい、耳しい、悪霊に憑かれた人、らい病の人、血を流す人、その他大勢の病気の人々を癒し、飢えた人々に食べさせ、悲惨な必要を持つ人々を満足させました。それから、人々の霊的な目を開かせて、永遠の救いという最高の必要に気付かせたのでした。

同じように、私達は地域の人々の本当の必要を見つけようと思いました。近隣の住民に調査を行い、自治体の役人から助言を受け、地域のいろんな必要がわかるようになりました。子供達や青少年の放課後の時間、文化的経験、安全と保護のクラス、無料の結婚式、英語教室、多言語家族の為の韓国語教室、健康教室、料理教室、カウンセリング、等々でした。有能なボランティアを見つけて私達の奉仕活動を助けていただき、たくさんの祈りを捧げて地域の人々の必要を満たそうと思いました。主の模範に従ったのです。

エレンホワイトは書いておられます。「イエスが示された方法は、成功を収める伝道の最善の方法です。」主の言葉に信頼して、主の模範に最善を尽くして従いました。その結果は、驚くべき奇跡に次ぐ奇跡でした。分かれた紅海の後にやってきた洪水のように、ふさがれていた道が開かれ私達の教会は新しい魂で一杯になりました。3年後には、子供や青年、30台や40台の色んな年齢層で教会は溢れるようになりました。やがて、新しい教会が完成して四年後には、教会に洪水のように入ってこられるすべての人々を受け入れるには、小さ過ぎるようになったのです。

田舎の教会を青年達で一杯にするという私達の夢は実現しそうです

もっと大きな場所が必要でした。この場所が与えられたのも奇跡でした。でも、新会堂を献げた後、たった三年後にもっと大きな場所が必要になったというのは、もっと大きな奇跡です。でも、さらに大きな場所が必要で



あるのは明らかでした！どうしたら良いか、私達にはわかりませんでした。それが、もう一度神の前に膝間づくようになった原因でした。祈っている時に、青年伝道に対する主の祝福の結果、急速に成長する青年達の為に新しい場所を用意するよう神は答えてくださいました。私たちは、計画のあまりの大きさに圧倒されそうでしたが、青年達の心に夢とビジョンを植え付けるという目的のために、サーミュック（アドベンチスト）青年ビジョンセンターを建設するという決断を、主の導きに従って行いました。

一年ほど真剣に祈っている時、当時の西中央韓国教区の総理に、私たちの計画を手短にお話する機会がありました。説明の後、一緒に祈ろうという提案をいただき、私たちの教会で、西中央韓国教区の行政委員会を開催して、そこで私たちの計画を紹介するように時間を下さる約束をいただきました。それは、私たちの祈りに対する神の答えの印だと信じました。そこで、集会が始まるまで祈り続けました。ついに、計画を紹介して委員会で支持する決議がなされたのです。祈りに神が答えてくださいました。

そこで、2012年6月29日、全員一致の教区の援助により土地を購入し、2013年4月17日、5階建て650坪（2,145㎡）のアドベンチスト・青年ビジョン・センターの起工式をいたしました。神の恵みによって、青年センターの建築は2015年6月16日に完成しました。私たちの教会は、非常に小さく田舎に位置していますが、主の弟子を養い、朝の露のようにたくさんの青年たちに福音を伝える教会に成長できると確信することができました。青年たちは、自分たちがうまくやっつけける文化や空間がないと、決して教会に来ようとしません。若い世代は、クリスチャンのコミュニティとしての私たちの未来の希望です。ですから、私たちのビジョンを、教会を再活性化する新しい計画に設定したいのです。現在、60～70人の青年たちが、毎日自分の必要を満たすためにセンターにやってきました。私たちの働きは、彼らに救い主であるイエスキリストを彼らが受け入れるように助けることです。私たちは、地域や青年グループのいろんな必要に答えることによって、福音を伝えようとして

います。例えば、フット・マッサージ、ミラクル・サウナ、小さな英語クラス、外国人のための韓国語クラス、繰り返して来る青年たちの自己学習予備校プログラム、等々。神様がジユクサン・デサラング教会を今日まで導いてくださったように、福音の働きを種が完成してくださると、私たちは信じています。

私たちの教会に現された神のみ業によって、この時代に、神が本当に私たちの教会に成し遂げたいと望んでおられることに気付くようになりました。例えもし、私たちが弱く厳しい状況にあらうとも、一度神に求めて、聖霊の力が宿るように祈り、主がそれを受け入れてくださるなら、神は確かに働いてくださり、それを実現してくださるのです。私たちの教会に現された真実を皆さんに知っていただき、聖霊による後の雨が完成する種ともなることを、真心から祈っています。

以下に、この教会の統計を掲載しています。心から、この貴重な報告をいただいたことを感謝します。これを見るときに、本教会の牧師と信徒たちが成長する為にどんなに苦闘したか、また神がこの教会の活動を祝福されたかがわかります。編集後記を合わせご覧ください。

ジユクサンデサラング教会の定着率表

年	出席者数	当該年のバプテスマを受けた新しい信徒たち			
		バプテスマ	長期欠席	定着信徒	定着率
2008	25	1	0	1	100%
2009	45	7	1	6	86%
2010	64	6	3	3	50%
2011	85	12	6	6	50%
2012	93	11	1	10	91%
2013	93	7	1	6	86%
2014	99	2	1	1	50%
2015	117	10	0	10	100%

全ては正しい質問をすることにかかっています。



デイビッド・リプリー
牧師会会長
北アジア太平洋支部



教会のリーダーたちが、新しい牧師と一緒に集まって、教会のこれからの伝道について計画を立てる会議を開くことに決めました。たくさんのアイデアが上がりました。

自分たちが理解しておくべきことについて、質問が出されました。

1. 私たちが存在するのは、なぜでしょう。
2. 教会員がしていて欲しい、一番大切なことは何でしょう。
3. これからの教会で、牧師に担ってほしい役割は何だろうか。
4. 私たちの地域伝道で、一番良い方法は何でしょう。
5. 伝道資金にどれほど資金を回すことができるでしょう。
6. どんな障害が、私たちの成功を阻んでいるだろうか。
7. 成功を収めるために、どれほどの祈りが必要だろうか。

教会はこれらの質問に答えながら、興奮しました。皆んな、伝道活動で牧師を支援し、従うことに同意しました。計画を祝福して下さるよう、神に祈る祈祷会が何日も計画されました。予算が定められ、教会員はその計画を実行するに必要な資金のために犠牲的に捧げました。全ての計画は、高い望みを持って始められました。

大きな計画と犠牲がなされた後、2年間の立ちました。すべての熱心な働きの結果は、わずかのものでした。何人かのバプテスマがあり、その内数人は教会にとどまっていますが、かなりの人は離れて行ってしまい、戻ってきませんでした。

何が間違っていたのでしょうか。

信仰が小さかった？ 祈りが足りなかった？ 皆の献身が不足していた？ 牧師の努力が足りなかった？ 神様のために働いているのでしょうか？ 主の働きのため大きな計画を立てていないのでしょうか？ なぜ、神は大きな結果を持って祝福して下さらないのでしょうか？

なぜその大きな望みが無残な結果で終わったのか、わかりません。牧師が変わり、新しい牧師と同じことを、

再び繰り返すのです。

私は、私たちが正しい質問をしていないのかも知れない、と申し上げたいと思います。間違った質問には、正しい答えはないことに気付く必要があります。

わたしたちは、信徒が正しい答えをするように、牧師を訓練します。でも、本当は教会が間違いなく正しい質問をするように、牧師を訓練すべきなのです。

教会牧師として、教会で次のような質問を受けてきました。「牧師先生。先生の教会に対するビジョンは、何ですか？」私は答えます、「分かりません。」

指導力のない牧師だと聞こえるかも知れません。でも、アドベンチスト牧師として、これが正しい答えです。「私は分かりませんが、神様の教会に対するビジョンをどのようにして求めたら良いかは分かります。結局それが、神が祝福なさるビジョンです。私のビジョンなんて、比ぶ可くもないし、言うのも憚ります。一緒に、正しい質問を尋ねて神の答えを求めましょう。」

それでは、正しい質問とは何でしょうか？

1. 主よ、私たちが何故この地域に存在するのでしょ、教えて下さい。
2. 主よ、あなたの弟子が為すべき重要なことは何でしょう、示して下さい。
3. 主よ、教会での牧師の正しい役割は何でしょう、教えて下さい。
4. 主よ、この時、地域の中のどこで働くのをあなたがお望みでしょうか、示してください。
5. 主よ、あなたが私たちに為すように求められることを、成功させるため必要な資金を備えて下さいませんか？
6. 主よ、私たちの道をふさいでいる障害を全て、取り除いてくださいますか？
7. 主よ、私たちの教会に対するあなたの御心とビジョンを行うことを求める時、祈りをお受け入れ下さいませんか？

聖書の学びを通し、共に祈りのために時を過ごしながら、神の教会へのみ心を示して下さるよう求めるとき、大なる発見がなされ、正しい質問への答えを見出し、そして大きな成功が達成されるでしょう。

教会牧師として働いているとき、各教会のため、神はご自分の御心を示したいと熱心に願っておられることを発見しました。ご自分が愛する地域をどう伝道したら良いか、私たちに示そうと神は熱心なのです。神の知恵と力は、選ばれた民のために用意されています。

神の教会を育て、信徒を定着する大きな成功は、教会が正しい質問をする時にきます。

「人間の意志が、神の意志と協力すると、どんなことでもできるようになる。神がお命じになったことは、神の力によって完成することができる。神のお命じになることはどんなことでも、成しとげることができるのである。」

キリストの実物教訓、p. 307

DISCUSSION

あなたの教会でのディスカッションのための質問：

1. 皆さんの教会で尋ねている質問を、時間をとって評価してください。それは私たちの計画に中心がありますか、それとも神の計画に中心がありますか。
2. 正しい質問をしているかどうか、確かめるために、教会は何をすべきでしょうか。
3. あなたの教会が尋ねるべき、神中心の正しい質問のリストを作ってください。
4. 弟子たちのグループとして、あなたの質問に正しい答えを得るために、皆さんはどう進めますか。
5. 手元に正しい答えを得たならば、あなたは教会としてどうしますか。

編集後記：

いつものことですが、ジュー先生とリプリー先生には、素晴らしい記事をいただき感謝いたします。新しい信徒に、本当に祝福されたキリストの弟子になって欲しいと願うなら、バプテスマの準備段階で、新しい信徒に受浸後直ちに養育と訓練の時を施すプログラムを組み込んでいなければなりません。この養育と訓練のプログラムは、注意深く一年は続ける必要があります。リプリー先生は、間違った質問をすることは、教会の働きを悲惨な結果に導くことになるかもしれないと警告しておられます。なんと重要な警告でしょうか。

金根洙（キン・グンスー）先生は、ご自分の教会での素晴らしい牧会の報告をしてくださいました。何と胸踊る話でしょうか。10人位の高齢者の会衆から、7年後に出席者が120名前後の会衆へと導かれたのです。本当に、力強い指導力のある成功した牧師です。統計表をご覧になって、この先生ですら定着率をあげるのに苦労しておられるのを見ると、少し慰めを受けるかもしれませぬ。この定着率は、その年にバプテスマを受けた信徒だけの定着率だということを覚えてください。この表によれば、バプテスマは出席者数増加のほんの一部ですから、この教会の出席者数増加の原因は、教会から離れていた前の信徒が帰ってきたり（Reclamation）、他の教会から移動してきた信徒による増加だろうということがわかります。このことから、牧師や信徒がどんなに熱心に失われた前の信徒を連れ戻し、上手くいったとしても、それは新しい信徒の定着率が上がることは直接関係がないということです。でも、この教会では牧師は離れた信徒のReclaim（回復）にも、新しい信徒のRetain（定着）にも最終的に、2015年に上手くいっておられます。素晴らしい牧会です。成功する定着と回復の中心には、熱心に互いに愛し合い育てあい、互いに教えあう（メンター）信徒の間に働く、強いクリスチャンの愛があるのが、お分かりでしょう。神が、この教会を、またみなさんの教会を祝福してくださいませうように。